

第2回

万葉の郷とっとりけん 全国高校生短歌大会

【本選】

令和2年12月13日(日)

10:00~12:30

会場:米子コンベンションセンター BIGSHIP

国際会議室

■主催 鳥取県

■後援 鳥取市 倉吉市 米子市 境港市 岩美町 八頭町 若桜町 智頭町 湯梨浜町 三朝町 北栄町 琴浦町 日吉津村
大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会
朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 (株)新日本海新聞社
時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局
TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送
いなばぴよんぴよんネット (株)中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送(株)

次第

司会 田中 奏子

主催者あいさつ 鳥取県知事 平井 伸治

本選 準々決勝 第1回戦
準々決勝 第2回戦
準々決勝 第3回戦
準々決勝 第4回戦

【休憩 10分間】

準決勝 第1回戦
準決勝 第2回戦

決勝

結果発表、講評

審査員



大辻隆弘氏

歌人
「未来」選者
現代歌人協会会員
現代歌人集会理事



穂村 弘氏

歌人
歌誌「かばん」所属
日経新聞歌壇選者



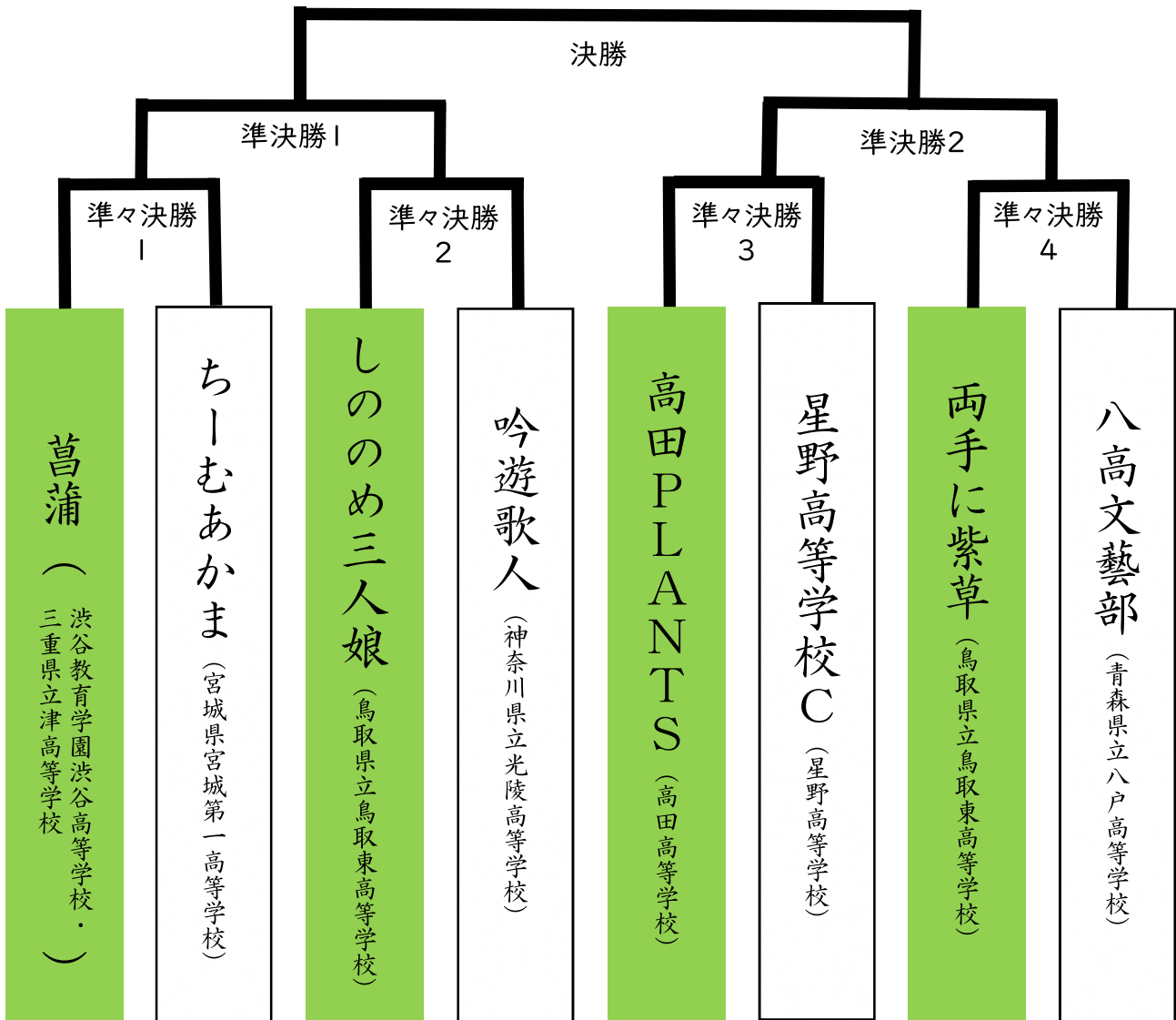
江戸 雪氏

歌人
「塔」短歌会選者

題

準々決勝 先鋒「光」、中堅「家」、大将「育」
準決勝 先鋒「夢」、中堅「風」、大将「新」
決勝 先鋒「待」、中堅「山」、大将「和」

本選トーナメント



出場チーム

八高文藝部

青森県立八戸高等学校
(青森県)

1年 村上 陽
1年 林崎 千藤
1年 宮下 透子

八戸高校は創立127年を迎えた伝統ある学校です。文芸部は年間を通じて活発に活動しています。

部誌の発行、種々のコンクール・大会への応募や参加、季節毎の歌会や句会等、楽しみながら活動をしています。昨年度には短歌甲子園団体優勝など、多くの活動実績を残すことができました。今年度は数々のオンラインでの全国大会にも出場を果たし、高い質の創作活動に意欲を燃やして日々精進しています。

ちーむあかま

宮城県宮城第一高等学校
(宮城県)

2年 鈴木 真由
2年 金澤 綾音
2年 高橋 花歩

宮城県も大伴家持と縁があり、宮城第一高校の校歌には家持の和歌が引用されています。

私たち文学部では、毎週自作の短歌を持ち寄り、歌会を開いています。創立123周年を迎えた今年、校舎建替となり、文化祭では50年以上お世話になった校舎に感謝の思いを込めて歌を詠みました。

コロナで鳥取には行けませんが、「ちーむあやね・かほ・まゆ」、力を合わせてこの大会に挑みます。どうぞよろしくお願ひします。

星野高等学校C

星野高等学校
(埼玉県)

1年 小島 穂乃花
1年 渡部 美咲
1年 大友 結

星野高等学校は、埼玉県川越市にある創立124年目を迎えた学校です。川越は小江戸と呼ばれる歴史情緒あふれる街で、蔵造りの町並み、徳川家縁の喜多院などには多くの観光客が訪れます。

そんな環境の中、文芸部は明るく元気に活動をしています。特に短歌・俳句については、一日一句一首という活動で創作力を磨いています。チームメンバーは全員1年生です。失うものは何ともありません。挑戦者の気持ちでがんばります！

菖蒲

渋谷教育学園渋谷高等学校
(東京都)

2年 岡 奎那
2年 嶋津 岳大

三重県立津高等学校(三重県)
3年 勝井 七海

こんにちは、菖蒲です。「しょうぶ」ではなく、「あやめ」と読みます！

昨年から数々の大会に出場してきた渋谷文芸部の岡と嶋津に、団体戦は初めてだが公募で活躍してきた三重の刺客こと勝井を加えて、この大会だからこそできる複数校チームで挑みます。

離れていても短歌を愛する気持ちはひとつ、学校を超えた団結力でよりよいパフォーマンスを目指します。宜しくお願ひします！

吟遊歌人

神奈川県立光陵高等学校
(神奈川県)

1年 山田 千鶴
1年 三品 陽成
1年 小熊 里梨

私たち吟遊歌人は主に部活動予備日の火曜日に集まって活動をしております。主な活動は短歌の作成です。このチームの良い所は、各々の色を持った短歌を作ることが得意なところですね。心象の表現、情景描写など、心の中で生きるもの、この目を見たものを31字の言葉と部員のみならず協力して作り上げたパフォーマンスに込めてお送りさせていただきます。それぞれの持ち味を活かし、全力で頑張ります！

高田PLANTS

高田高等学校
(三重県)

1年 長崎 桃子
1年 亀谷 柊瑠
1年 岸本 花梨

こんにちは！高田PLANTSです。

私たちは“言葉に真摯に向き合う”ことをモットーに活動しています。表現の1つ1つまでこだわり抜いた短歌ですので、よく味わっていただければ幸いです。

今回の大会では勝ち負けではなく、いかに試合を楽しみ、他校の良い技術を盗むことに重きをおいて臨みます。

同じ短歌への情熱を持つ皆さんへ良きライバルとして全力でぶつかりますので覚悟しておいてください!!

しののめ三人娘

鳥取県立鳥取東高等学校
(鳥取県)

2年 田中 綾音
2年 山本 菜摘
2年 市村 恵奈

私たちは鳥取東高2年の「しののめ三人娘」です。私たちはこの大会に出場させていただくまでは部活も違うし、あまり関わりのない3人でした。ですが、短歌が選ばれて、本選まで残ることができ、だんだんとよい関係が築けてきました。

今回の本選では私たち3人の個性がたっぷり詰まった短歌をよむことが出来ると思うので、ぜひ応援してほしいです。よろしく願いします。

両手に紫草

鳥取県立鳥取東高等学校
(鳥取県)

2年 石原 史子
2年 山根 大樹
2年 片山 藍美

私たちのチーム名にある「紫」という色は、万葉集の中で1番多く登場した色であるとともに、鳥取東高の学校カラーでもあります。

私たちらしさが存分に詰まった短歌の中に、きっと1200年前の風を感じていただけだと思います。そして私たちの短歌でしか味わうことができない言葉や風景を多くの皆さんにお届けできるよう、精一杯パフォーマンスをします。よろしく願いします！

準々決勝作品

第一回戦						第二回戦					
菖蒲			ちーむあかま			しののめ三人娘			吟遊歌人		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
卵胞の育つ速度をおもうたびからだと分離してゆくわたし	雨音は工事現場に輪郭を与えてひどく家が恋しい	ほうき星だった記憶がありますか朝の埃は光りつつ降る	ひまわりのように真っ直ぐ育ちたいイイコでいるのが辛い時でも	実家から届いた野菜を使っても母の味にはきつとまらない	閃光が走ったらしい傷にまた夕風がくるグラウンドゼロ	自転車でゆく坂道の向日葵も育っているよピンと背伸ばす	行きたびに狭く感じる祖母の家柱の印どんどん上へ	放課後の光さしこむ教室にもういないのに君の声ができる	週末に君と育てたゼラニウム白色選んだ理由は秘密	今までの思いを込めてさようならまたこの家で会える時まで	黄昏の浜に別れを告げた時光押し出す波が見えたの
勝井 <small>かつい</small> 七海 <small>ななみ</small>	嶋津 <small>しまづ</small> 岳大 <small>たけひろ</small>	岡 <small>おか</small> 奎那 <small>けいな</small>	高橋 <small>たかはし</small> 花歩 <small>かほ</small>	金澤 <small>かなざわ</small> 綾音 <small>あやね</small>	鈴木 <small>すずき</small> 真由 <small>まゆ</small>	市村 <small>いちむら</small> 恵奈 <small>えな</small>	山本 <small>やまもと</small> 菜摘 <small>なつみ</small>	田中 <small>たなか</small> 綾音 <small>あやね</small>	小熊 <small>おぐま</small> 里梨 <small>りり</small>	三品 <small>みしな</small> 陽成 <small>ようせい</small>	山田 <small>やまだ</small> 千鶴 <small>ちづる</small>

第三回戦						第四回戦					
高田PLANTS			星野高等学校C			両手に紫草			八高文藝部		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
スカートのポケットに一つ忍ばせる母の育てたラベンダーのサシエ	冬はじめ家の扉を開けると静けさが耳を打って、おかえり	【解凍】を押せば光が染み付いて鶏の翼は手羽先になる	君を待つ大宮駅のコンコース育ちゆきたる自転車の錆	秋の夜の家出少女は街の灯にコスモスのごとふるへてゐたり	赤々とベテルギウスは光りたり消えかけてゐる私の心	こっそりと育てた気持ちあなたには輪郭ぼやけて言葉にならず	家並に涎を垂らした太陽が顔赤らめてメロスと走る	庭先のゼフィランサスの花びらに一つ二つと光る雨粒	死にたいと思った時にエサをくれとまるまる育った金魚がはねた	「『帰りたい』と思える家でありたい」母の酒の白いが優しい	光桃甘さが増したこの恋の場合について加速度を出せ
岸本 きしもと	亀谷 かめや	長崎 ながさき	大友 おおとも	渡部 わたなべ	小島 こじま	片山 かたやま	山根 やまね	石原 いしはら	宮下 みやした	林崎 はやしざき	村上 むらかみ
花梨 かりん	柊瑠 のえる	桃子 ももこ	結 ゆい	美咲 みさき	穂乃花 ほのか	藍美 あいみ	大樹 だいき	史子 ふみこ	透子 ゆきね	千藤 ちふじ	陽 はる



審査員特別賞

大辻隆弘賞

バスに乗る時間が長くなるたびに周りの木々が大きく育つ

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 森本 有咲

穂村弘賞

黄昏の浜に別れを告げた時光押し出す波が見えたの

神奈川県立光陵高等学校 1年 山田 千鶴

江戸雪賞

私かて家族に内緒で泣いてるよ絡まったままイヤホンつけて

神奈川県立光陵高等学校 1年 小野 愛加